

# マイルストーン(milestone)

みなさんの進路選択の目印となりますように

福山市立城東中学校 第3学年  
進路通信 No.3  
2017年(平成29年)6月8日

## 進路決定に向けての心構え

3年生になって、2ヶ月が経ちましたが、何をどうすればよいか、まだまだ不安なことも多いかも知れませんね。自分だけがあせっている…?いいえ、みんな同じです。進路選択は、今日、明日で決まることではありません。ふだんの毎日の生活に、その鍵があります。そこで心がけてほしいと思うことを4つ挙げてみました。

### その①:自分の進路は自分で拓(ひら)くもの(=人任(まか)せにならない)

「進学はしたい。でも努力はしていない。」「友達が行くから自分も高校へ行く。」「親が決める。」「先生が決めてくれる。」…そんな声を聞くこともありますが、それでは自分で切り拓くことにはなりません。まず、「どうしてその進路なのか(理由)」、「何を何時までにするのか(目標)」、「どのようにして(努力)」が、大切です。

### その②:受験生としての自覚を持つ(=毎日の生活態度を見直そう)

たとえば服装についてです。今日が受験でも大丈夫な服装の人はどれくらいいるでしょうか。あるいは休憩時間の過ごし方についてです。校内を走り回ったり、大声をあげたりしていませんか。あるいは授業中。私語をしたり、読書や居眠りをしたりしていませんか。こうした日頃の生活態度は必ず入試に影響してきます。

「大丈夫!その時はうまくやる!」と言う人がよくいますが、高等学校の先生はこうっておられます。「そういう生徒さんは、だいたい分かりますよ。」日頃できていないことを急にきちんとやろうとしても無理が生じます。日頃から自覚を持った生活を心がけていくようにしましょう。

### その③:人物を重視(=幅広い視野や価値観が問われる)

最近の傾向として、教科の力も大切ですが、どんな人物なのかを重視している学校が増えてきています。将来どんな生き方をしようとしているのか、どんなことに興味があるのか、努力のできる生徒なのか、きまりを守る生徒なのか、仲間を大切にできる生徒なのか…そんなことを面接や作文で問われます。ですから、自分のものの見方や考え方を深めておくことが必要です。方法としては、ニュースや新聞などで幅広い知識を身につけておくことや道徳や総合の授業などで友だちの意見にしっかり耳を傾け、自分の考えを深めることも役に立つと思います。

### その④:配布物、提出期限を確実に

これから進路に関する配布物や提出物が増えてきます。配布物は確実におうちの人に渡す。提出物は必ず期限内に提出するようにしてください。高等学校に提出する書類は1分遅れても受け取ってもらえません。期限を確実に守るようになってください。余裕を持って提出する習慣を身につけてください。

## 推薦入試について

多くの高等学校では「推薦入試制度」を設けています。これは出身校からの推薦を受けた学生を選抜して入学させるもので、学業やスポーツ、芸術分野あるいは生活面等で皆の模範となるような生徒に対する優待制度(ゆうたいせいど)です。もちろん必ず合格できるという制度ではありません。(広島県の公立高等学校では選抜(I)という言い方になります。)

推薦入試を希望する場合、中学校での推薦基準と各高等学校の示す推薦基準の両方を満たすことが必要になります。2月の進路説明会では次のように説明しました。

城東中学校の推薦基準(「福山市立城東中学校 第1回進路説明会資料」より)

- (1) 志望の動機・理由が明白かつ適切であること。
- (2) 学校・学科への適正、興味・関心があり、学習意欲を有すること。
- (3) 学習成績が良好であること。
- (4) 服装・授業態度・掃除態度等の学校生活に問題が無いこと。
- (5) 遅刻・欠席が少ないこと。
- (6) 社会的なルール、マナーが守れること。



高等学校の推薦基準(「平成29年度 広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」より)

福山葦陽	普通	文化・スポーツ活動、生徒会活動等に優れた実績をあげ、入学後も意欲的に取り組むこと。
沼南	全学科	基本的な生活習慣が身につけており、部活動、生徒会活動又はボランティア活動等に積極的に取り組む意欲を有すること。
大門	普通	文化・スポーツ活動、生徒会活動等に意欲的に取り組み、成果をあげていること。
	普通【理数】	理科及び数学に興味・関心を持ち、学習意欲が高いこと。

推薦入試制度の利点としては早期の内定、受験科目の負担軽減、個の特長を生かせる点などがありますが、逆に果たすべき責任や義務も多く、単に合格への早道と考えてしまわないことが大切です。

推薦を希望する場合は、まず本人と保護者でよく話し合い、早めに担任の先生に相談をしましょう。その上で学年や授業の先生の意見に基づき総合的に判断され、校長先生が推薦します。

推薦してもらえることが決まったら、受験の手続きを進め、一般入試より先の受験となります。推薦入試はあらかじめ中学校から提出した書類と面接・作文による審査を経て(多くの私学では学科試験もあります)、合格者は高等学校の校長先生の認可の後、内定が通知されます。内定後は他の高等学校受験はできませんから、くれぐれも注意してください。

志望校への推薦が叶(かな)わなくても一般入試で合格し、頑張っている先輩はたくさんいます。従って、推薦制度を絶対的な制度と考えて安易に志望校を変更してしまうことは好ましくありません。一方で、「なぜ・どうして推薦を希望するのか」について、しっかりと理由・動機を本人がきちんと説明できることが求められます。